

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
生化学	講義	1年次前期	1単位／30時間	外部講師 講師
目的: 人体の構成成分と代謝や生体の防御機構について学ぶ 遺伝情報のしくみと役割について学ぶ 目標: ①生体を構成する物質を理解する ②恒常性を維持するメカニズムを理解し、メカニズムの破綻より引き起こされる疾病を理解する				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	生化学を学ぶための基礎知識 糖質	①生化学の歩みと役割 ②化学の基礎知識 ③細胞の構造と機能 【糖質】 ①糖質とは ②糖質の種類 ③単糖の構造と性質 ④二糖の構造と性質 ⑤多糖の構造と性質	
2	/ ()	脂質 タンパク質	【脂質】 ①脂質とは ②脂質の種類 ③脂質の役割 ④脂質各論 ⑤リポタンパク質 【タンパク質】 ①タンパク質とは ②アミノ酸 ③タンパク質の構造 ④タンパク質の分類	
3	/ ()	核酸 水と無機質	【核酸】 ①核酸とは ②塩基 ③ヌクレオシドとヌクレオチド ④DNAとRNAの構造 【水と無機質】 ①水とは ②水の出入り ③酸塩基平衡 ④無機質とは	
4	/ ()	血液と尿 ホルモンと生理活性物質	【血液と尿】 ①血液 ②尿 【ホルモンと生理活性物質】 ①ホルモンとは ②ホルモンの種類と作用機序 ③ホルモン各論 ④内分泌疾患 ⑤サイトカイン	
5	/ ()	代謝のあらまし	①代謝とは ②消化・吸収された栄養素の体内での代謝	
6	/ ()	酵素	①酵素についての基礎知識 ②酵素反応 ③酵素反応の阻害 ④酵素分類 ⑤酵素の応用	
7	/ ()	ビタミンと補酵素	①ビタミンとは ②ビタミンの種類と生理作用	

8	/ ()	糖質代謝	①糖質代謝のあらまし ②グルコースの分解 ③糖新生 ④ペントースリン酸回路 ⑤グリコーゲンの代謝 ⑥ガラクトース、フルクトース、マンノースの代謝	
9	/ ()	脂質代謝	①脂質の消化と吸収 ②脂肪酸の分解 ③ケトン体の産出と利用 ④脂肪酸の生合成 ⑤トリグリセリドの生合成 ⑥コレステロールの生合成と利用 ⑦エイコサノイドの生合成	
10	/ ()	タンパク質代謝	①タンパク質代謝のあらまし ②タンパク質の消化と吸収 ③ α ケト酸を経由するアミノ酸の利用 ④アミノ酸からの含窒素化合物の合成 ⑤アミノ酸からほかのアミノ酸の合成	
11	/ ()	核酸代謝	①核酸の合成と分解 ②ヌクレオチドの合成 ③ヌクレオチドの分解	
12	/ ()	ポルフィリン代謝	①ポルフィリンとは ②ヘムの生合成 ③ヘムの分解 ④ビリルビンの代謝	
13	/ ()	代謝の異常	①骨粗鬆症 :骨代謝異常 ②糖尿病 :グルコース代謝異常 ③脂質異常症 :脂質代謝異常 ④高尿酸血症・痛風 :核酸代謝異常	
14	/ ()	遺伝情報 先天性代謝異常症	【遺伝情報】 ①遺伝情報とは ②複製 ③転写 ④翻訳 ⑤翻訳後のタンパク質プロセッシングと細胞内移行 ⑥DNAの損傷と修復 【先天性代謝異常症】 ①先天性代謝異常症とは ②先天性代謝異常症各論	
15	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:系統看護学講座 専門基礎分野 生化学 人体の構造と機能② (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
臨床微生物	講義	1年次前期	1単位／30時間	外部講師
目的: 微生物が人体に侵入し体内でどのような反応や現象が起こり、感染から人体を守っているのか、感染症の予防や対処法について学ぶ 目標: ①各種微生物の性状と感染様式、発症機序、感染病態を理解する ②感染症の予防・治療を理解する ③感染対策を看護援助に活かす方法が理解できる				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	微生物と微生物学	①微生物の性質 ②微生物と人間 ③微生物学の対象と目的 ④微生物学のあゆみ	
2	/ ()	細菌の性質 真菌の性質	【細菌】 ①細菌の形態と特徴 ②培養環境と栄養 ③細菌の遺伝 ④細菌の分類 ⑤常在細菌叢 【真菌】 ①真菌の形態と特徴 ②真菌の増殖 ③真菌の分類と命名法 ④栄養と培養	
3	/ ()	原虫の性質 ウイルスの性質	【原虫】 ①原虫の特徴と基本構造 ②病原原虫の種類 【ウイルス】 ①ウイルスの特徴 ②ウイルスの構造と各部分の機能 ③ウイルスの増殖 ④ウイルスの分類	
4	/ ()	感染と感染症	①微生物感染の機構 ②感染の成立から発症・治癒まで ③細菌感染の機構 ④真菌感染の機構 ⑤原虫感染の機構 ⑥ウイルス感染の機構	
5	/ ()	感染に対する生体防御機構	①自然免疫のしくみ ②獲得免疫のしくみ ③粘膜免疫のしくみ ④感染の徴候と症状	
6	/ ()	感染源・感染経路からみた感染症 滅菌と消毒	【感染源・感染経路からみた感染症】 ①経口感染 ②経気道感染 ③接触感染 ④経皮感染 ⑤母児感染 【滅菌と消毒】 ①バイオハザードとバイオセーフティー ②滅菌・消毒の意義と定義 ③滅菌法 ④濾過除菌 ⑤消毒と消毒薬	
7	/ ()	感染症の検査と診断	①病原体を検出する方法 ②生体の反応から診断する方法	

8	/ ()	感染症の治療	①化学療法の基本 ②各種の化学療法薬 ③その他の治療法	
9	/ ()	感染症の現状と対策	①感染症の変遷 ②感染症の現状と問題点 ③感染症の対策	
10	/ ()	病原細菌と細菌感染症	①グラム陽性球菌 ②グラム陰性球菌 ③グラム陰性好気性桿菌 ④グラム陰性通性桿菌	
11	/ ()	病原細菌と細菌感染症	⑤カンピロバクター属、ヘリコバクター属 ⑥グラム陽性桿菌 ⑦抗酸菌と放線菌 ⑧嫌気性菌	
12	/ ()	病原細菌と細菌感染症 病原真菌と真菌感染症	⑨スピロヘータ ⑩マイコプラズマ ⑪リケッチア目 ⑫クラミジア科 ①深在性真菌症をおこす真菌	
13	/ ()	病原真菌と真菌感染症 病原原虫と原虫感染症	②深部皮膚真菌症をおこす真菌 ③表在性真菌症をおこす真菌 ①根足虫類 ②鞭毛虫類 ③孢子虫類 ④繊毛虫類	
14	/ ()	おもなウイルスとウイルス感染症	①DNAウイルス ②RNAウイルス ③ウイルスの臨床的分類	
15	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学 疾病のなりたちと回復の促進④ (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
総合医療論	講義	1年次前期	1単位／15時間	外部講師
目的: 医療や看護の原点から学び、現代医療の実際と今後の課題について理解を深める 目標: ①急激な高齢化、医療技術の高度化・複雑化、医療安全への関心の高まりなど保健・医療・福祉の課題について理解を深める ②新しい展開を見せる医療・保健・福祉・看護の関わりと役割を理解する				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	医療コミュニケーションの 原点にさかのぼる 医療と看護の原点	【序章】 ①看護の「心」②専門職としての医師と看護師 ③援助される者と援助する者 ④病める者の自立への援助 【医療と看護の原点】 ①命について考える ②健康とは ③病の体験 ④癒しの行為と癒しの知 ⑤チーム医療とマネジメント	
2	/ ()	医療の歩みと医療観の変遷	①現代医学の起源 ②わが国の医療がたどってきた道 ③20世紀の医療 ④医療観のうつりかわり	
3	/ ()	私たちの生活と健康	①もしも私たちが病気やけがをしたら ②私たちの生活と環境衛生、保健・福祉行政 ③疾病の一次予防と健康増進 ④少子高齢化社会と世代間のきずな ⑤障害者のノーマライゼーションと社会的包摂(インクルージョン) ⑥心の健康と精神医療	
4	/ ()	科学技術の進歩と現代医療の最前線	①科学技術の進歩と社会・生活の変化 ②現代医学と先端医療技術の最前線	
5	/ ()	現代医療の新たな課題	①薬の副作用と手術偶発症 ②医原病という考え方とケアの実践 ③先端医療技術がもたらす倫理上のジレンマ ④生命倫理学と臨床倫理学の展開 ⑤産業社会の発展と地球環境問題 ⑥医療不信から「賢い患者」へ ⑦インフォームドコンセント医療情報の開示 ⑧医療情報の開示と診療録	
6	/ ()	医療を見つめ直す新しい視点 保健・医療・福祉の潮流	①臨床疫学 ②患者の安全 ③医療の管理と評価 ④これからの先端医療開発 ⑤情報化社会と医療 ①医療変革の波とともに始まった21世紀 ②新時代の保健・医療の担い手	
7	/ ()	保健・医療・福祉の潮流	③プライマリケアの新たな展開 ④医療におけるケアの視点 ⑤保健・医療の国際化 ⑥地域包括医療システムの新しい展開 ⑦保健・医療・福祉システムと地域住民の役割 ⑧地球時代におけるケア	
8	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 系統看護学講座 専門分野 総合医療論 健康支援と社会保障制度① (医学書院) 人体解剖パーフェクト事典 (ナツメ社)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
人体の構造と機能 I	講義	1年次前期	1単位／30時間	外部講師
目的:「食べる」という生活行動と関連させ、消化・吸収の役割をもつ消化器系の構造と機能について学ぶ 目標:①人体の「構造」と「機能」の中で特に消化器系について理解を深める ②体を構成する臓器や器官レベルでのはたらき、調節するシステムなど生命を維持する活動について理解できる				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	人体の構造と機能を学ぶために	①人体の構造と機能についてなにを学ぶか ②人体の構造と機能をどのように学ぶか ③解剖学と生理学の歴史と現在	
2	/ ()	人体とはどのようなものか	①人体の階層性 ②自然界のける人類の位置 ③社会の中の人体	
3	/ ()	人体の素材としての細胞・組織	①細胞の構造 ②細胞を構成物質とエネルギーの生成	
4	/ ()	人体の素材としての細胞・組織	③細胞膜の構造と機能 ④細胞の増殖と染色体 ⑤分化した細胞がつくる組織	
5	/ ()	構造と機能からみた人体	①構造からみた人体 ②機能からみた人体	
6	/ ()	構造と機能からみた人体	③体液とホメオスタシス	
7	/ ()	口・咽頭・食道の構造と機能	①口の構造と機能	
8	/ ()	口・咽頭・食道の構造と機能	②咽頭と食道の構造と機能	
9	/ ()	腹部消化管の構造と機能	①胃の構造 ②胃の機能 ③小腸の構造	
10	/ ()	腹部消化管の構造と機能	④小腸の機能 ⑤栄養素の消化と吸収 ⑥大腸の構造 ⑦大腸の機能	
11	/ ()	便の生成と排泄	①便の生成 ②便の排泄	
12	/ ()	膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能	①膵臓 ②肝臓と胆嚢の構造	
13	/ ()	膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能	③肝臓の機能	
14	/ ()	腹膜	①腹膜と腸間膜 ②腹膜と内臓の位置関係 ③胃の周辺の間膜	
15	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:系統看護学講座 専門分野 解剖生理学 人体の構造と機能① (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
人体の構造と機能Ⅱ	講義	1年次前期	1単位/30時間	外部講師
目的:①呼吸するという生活行動と関連させ、換気の役割をもつ呼吸器系の構造と機能について学ぶ ②体内の物質の輸送を行う循環器系の構造と機能について学ぶ 目標:①呼吸器系・循環器系の臓器の生理・役割について理解する ②体を構成する臓器や器官レベルではたらき、調節するシステムなど生命を維持する活動について理解できる				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	呼吸器の構造	①呼吸器の構成 ②上気道 ③下気道と肺 ④胸膜・縦隔	
2	/ ()	呼吸	①内呼吸と外呼吸 ②呼吸器と呼吸運動 ③呼吸器量 ④ガス交換とガスの運搬	
3	/ ()	呼吸	⑤肺の循環と血流 ⑥呼吸運動の調節 ⑦呼吸器系の病態生理	
4	/ ()	血液	①血液の組成と機能 ②赤血球 ③白血球 ④血小板	
5	/ ()	血液	⑤血漿タンパク質と赤血球沈降速度 ⑥血液の凝固と繊維素溶解 ⑦血液型	
6	/ ()	循環器系の構成 心臓の構造	【循環器系の構成】 【心臓の構造】 ①心臓の位置と外形	
7	/ ()	心臓の構造	②心臓の4つの部屋と4つの弁 ③心臓壁 ④心臓の血管と神経	
8	/ ()	心臓の拍出機能	①心臓の興奮とその伝播 ②心電図	
9	/ ()	心臓の拍出機能	③心臓の収縮	
10	/ ()	末梢循環系の構造	①血管の構造 ②肺循環の血管	
11	/ ()	末梢循環系の構造	③体循環の動脈 ④体循環の静脈	
12	/ ()	血液の循環の調節	①血圧(動脈圧)②血液の循環 ③血圧・血流量の調節	
13	/ ()	血液の循環の調節	④微小循環 ⑤循環器系の病態生理	
14	/ ()	リンパとリンパ管	①リンパ管の構造 ②リンパの循環	
15	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:系統看護学講座 専門分野 解剖生理学 人体の構造と機能① (医学書院) 人体解剖パーフェクト事典 (ナツメ社)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
人体の構造と機能Ⅲ	講義	1年次後期	1単位／30時間	外部講師
目的:①排泄をするという生活行動と関連させ、尿の生成と体液の調節にちて腎・泌尿器系の構造と機能を学ぶ ②動くための機関である骨格系と運動系の構造と機能について学ぶ 目標:①体液の調節、内臓機能の調整、身体の支持と運動について理解する ②体を構成する臓器や器官レベルではたらき、調節するシステムなど生命を維持する活動について理解できる				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	腎臓	①腎臓の構造と機能 ②糸球体の構造と機能 ③尿細管の構造と機能 ④傍糸球体装置 ⑤クリアランスと糸球体濾過量 ⑥腎臓から分泌される生理活性物質	
2	/ ()	排尿路 体液の調節	【排尿路】 ①排尿路の構造 ②尿の貯蔵と排尿 【体液の調節】 ①水の出納 ②脱水 ③電解質の異常 ④酸塩基平衡	
3	/ ()	自律神経による調節	①自律神経の機能 ②自律神経の構造 ③自律神経の神経伝達物質と受容体	
4	/ ()	内分泌系による調節 全身の内分泌腺と内分泌細胞	【内分泌】 ①内分泌とホルモン ②ホルモンの化学構造と作用機序 【全身】 ①視床下部-下垂体系	
5	/ ()	全身の内分泌腺と内分泌細胞	②甲状腺と副甲状腺 ③脾臓 ④副腎 ⑤性腺	
6	/ ()	ホルモン分泌の調節 ホルモンによる調節の実際	【ホルモン分泌の調節】 ①神経性調節 ②物質の血中濃度による自己調節 ③促進・抑制ホルモンによる調節 ④負のフィードバック ⑤正のフィードバック 【ホルモンによる調節の実際】 ①ホルモンによる糖代謝の調節 ②ホルモンによるカルシウム代謝の調節 ③ストレスとホルモン ④乳房の発達と乳汁分泌 ⑤高血圧をきたすホルモン	

7	/ ()	骨格とはどのようなものか	①人体の骨格 ②骨の形態と構造 ③骨の組織と組成 ④骨の発生と成長 ⑤骨の生理的な機能	
8	/ ()	骨の連結	①関節 ②不動性の連結	
9	/ ()	骨格筋	①骨格筋の構造 ②骨格筋の作用 ③骨格筋の神経支配	
10	/ ()	体幹の骨格と筋	①脊柱 ②胸部 ③背部の筋 ④胸部の筋 ⑤腹部の筋	
11	/ ()	上肢の骨格と筋	①上肢帯の骨格 ②自由上肢の骨格 ③上肢帯の筋群 ④上腕の筋群 ⑤前腕の筋群 ⑥手の筋群 ⑦上肢の運動	
12	/ ()	下肢の骨格と筋	①下肢帯と骨盤 ②自由下肢の骨格 ③下肢帯の筋群 ④大腿の筋群 ⑤下腿の筋 ⑥足の筋 ⑦下肢の運動	
13	/ ()	頭頸部の骨格と筋	①神経頭蓋(脳頭蓋) ②内臓頭蓋(顔面頭蓋) ③頭部の筋 ④頸部の筋	
14	/ ()	筋の収縮	①骨格筋の収縮機構 ②骨格筋収縮の種類と特性 ③不随意筋の収縮の特徴	
15	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:系統看護学講座 専門分野 解剖生理学 人体の構造と機能① (医学書院) 人体解剖パーフェクト事典 (ナツメ社)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
人体の構造と機能IV	講義	1年次後期	1単位/30時間	外部講師
目的:①生活行動と関連させ、脳神経・皮膚・生殖器の構造と機能について学ぶ ②外部環境と内部環境の構造と機能について学ぶ ③生殖・発生と老化のしくみについて学ぶ 目標:①外部環境等からの情報を受け取る脳・神経、眼、耳等について理解する ②生体防御のための器官・しくみについて理解する ③性差を理解して、発生・成長について理解する ④体を構成する臓器や器官レベルではたらき、調節するシステムなど生命を維持する活動について理解する				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	神経系の構造と機能	①神経細胞と支持細胞 ②ニューロンでの興奮の伝導 ③シナプスでの興奮の伝達 ④神経系の構造	
2	/ ()	脊椎と脳	①脊髄の構造と機能 ②脳の構造と機能	
3	/ ()	脊髄神経と脳神経	①脊髄神経の構造と機能 ②脳神経の構造と機能	
4	/ ()	脳の高次機能	①脳波と睡眠 ②記憶 ③本能行動と情動行動 ④内臓調節機能 ⑤中枢神経系の障害	
5	/ ()	運動機能と下行伝導路	①運動ニューロン ②下行(遠心)伝導路	
6	/ ()	感覚機能と上行伝導路	①感覚の種類 ②感覚の性質 ③体性感覚の受容器の種類 ④皮膚の感覚受容器の分布 ⑤上行(求心)伝導路	
7	/ ()	眼の構造と視覚	①眼球の構造 ②眼球付属器 ③視覚	
8	/ ()	耳の構造と聴覚・平衡覚	①耳の構造 ②聴覚 ③平衡覚	
9	/ ()	味覚と嗅覚 疼痛	【味覚と嗅覚】 ①味覚器と味覚 ②嗅覚器と嗅覚 【疼痛】 ①痛みの分類 ②疼痛の発生機序	
10	/ ()	皮膚の構造と機能 生体防御機構	【皮膚の構造と機能】 ①皮膚の組織構造 ②皮膚の付属器 ③皮膚の血管と神経 【生体防御】 ①非特異的防御機構 ②特異的防御機構-免疫 ③生体防御の関連臓器	
11	/ ()	体温とその調節	①熱の出納 ②体温の分布と測定 ③体温調節 ④発熱 ⑤高体温と低体温	
12	/ ()	生殖・発生と老化のしくみ	①男性生殖器 ②女性生殖器	
13	/ ()	生殖・発生と老化のしくみ	③受精と胎児の発生 ④成長と老化	
14	/ ()	体表からみた人体の構造	①体表から触知できる胸腹部内臓 ②体表から触知できる骨格部分 ③体表から触知できる大きな筋 ④体表から触知できる動脈 ⑤体表から到達できる静脈	
15	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:系統看護学講座 専門分野 解剖生理学 人体の構造と機能① 人体解剖パーフェクト事典 (ナツメ社)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
病理学総論	講義	1年次後期	1単位／15時間	外部講師
目的:①病気の原因、病気の発症・進展の過程、患者に対する影響を学ぶ ②基礎医学の知識を土台にしつつ臨床医学を学ぶ ③臨床医学に科学的根拠を与えるのはどのようになされているかを学ぶ 目標: 疾病に罹患するとはどのようなことか、正常な細胞・組織の違い、発生原因、進行過程で生じる様々な現象、身体への影響を理解し、診断方法・治療に関する基本的な考え方を理解する				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	病理学で学ぶこと 細胞・組織の障害と修復	【病理学で学ぶこと】 ①看護と病理学 ②病気の原因 ③病気の分類と病理学の学び方 【細胞・組織の障害と修復】 ①細胞の損傷と適応 ②組織の修復と創傷治癒	
2	/ ()	循環障害	①循環系の概要 ②浮腫(水腫) ③充血とうっ血 ④出血 ⑤血栓症 ⑥塞栓症 ⑦虚血と梗塞 ⑧側副循環による障害 ⑨ショック ⑩高血圧症 ⑪播種性血管内凝固症候群(DIC)	
3	/ ()	炎症と免疫移植と再生医療 成人看護学⑩ 感染症	【炎症と免疫移植と再生医療】 ①炎症とその分類 ②免疫と免疫不全 ③アレルギーと自己免疫疾患 ④膠原病 ⑤移植と再生医療 【感染症】 ①感染と宿主の防御機構 ②おもな病原体と感染症 ③感染症の治療と予防	
4	/ ()	代謝障害	①脂質代謝障害 ②タンパク質代謝障害 ③糖尿病 ④そのほかの代謝障害	
5	/ ()	老化と死	①個体の老化と老年症候群 ②加齢に伴う諸臓器の変化 ③個体の死と終末期医療	
6	/ ()	先天異常と遺伝子異常	①遺伝の生物学 ②先天異常 ③遺伝子の異常と疾患 ④先天異常・遺伝子異常の診断と治療	
7	/ ()	腫瘍	①腫瘍の定義と分類 ②悪性腫瘍の広がりや影響 ③腫瘍の発生病理 ④腫瘍の診断と治療 ⑤腫瘍の統計	
8	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学-疾病のなりたちと回復の促進① (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー・膠原病・感染症 成人看護学⑩ (医学書院) 人体解剖パーフェクト事典 (ナツメ社)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
病態生理学	講義	1年次後期	1単位/30時間	外部講師
<p>目的: 正常な状態から異常な状態へ陥った時に人間の身体で起こっている出来事(病態生理)を、正しく理論的にわかりやすく説明する能力を養う。</p> <p>目標: 病態について「それはなぜ? どうして?」から学習することにより、病態や疾患が説明できるようになる。</p>				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%)				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	病態生理学の基礎知識	呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、代謝・リウマチ性疾患について	
2	/ ()	呼吸器疾患について	1.呼吸不全を説明しよう	
3	/ ()	〃	課題学習	
4	/ ()	循環器疾患について	2.心不全を説明しよう	
5	/ ()	〃	課題学習	
6	/ ()	消化器疾患について	3.肝不全を説明しよう	
7	/ ()	〃	課題学習	
8	/ ()	代謝・リウマチ性疾患について	4.糖尿病を説明しよう	
9	/ ()	〃	課題学習	
10	/ ()	代謝・リウマチ性疾患について	5.関節リウマチを説明しよう	
11	/ ()	〃	課題学習	
12	/ ()	1~5についてまとめ	各自まとめる	
13	/ ()	プレゼンテーション	1~3について	
14	/ ()	プレゼンテーション	4~5について	
15	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: (医学書院) 専門基礎分野 病態生理学 疾病のなりたちと回復の促進② (学研)説明できる病態生理				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
疾病治療 I	講義	1年次後期	1単位／30時間	外部講師
目的: 全身の生理機能のしくみとはたらき、各臓器の病態の理解と疾病治療論の概要を学ぶ 目標: ①全身の生理機能のしくみとはたらきが理解する。 ②各臓器の病態生理が理解する。				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	病態生理学を学ぶための基礎知識	①正常と病気の状態 ②循環障害 ③細胞・組織の障害 ④感染症 ⑤腫瘍 ⑥先天異常と遺伝子異常 ⑦老化と死	
2	/ ()	皮膚・体温調節のしくみと病態生理	①皮膚の生体防御のしくみとその障害 ②体温調節のしくみとその障害	
		免疫のしくみと病態生理	①免疫のしくみ ②免疫反応の低下 ③免疫反応の過剰	
3	/ ()	体液調節のしくみと病態生理	①体液・電解質の調節とその異常 ②酸・塩基平衡のしくみとその異常	
4	/ ()	血液のはたらきと病態生理	①骨髄の機能と障害 ②赤血球の機能とその障害 ③白血球の機能とその障害 ④血小板と出血傾向	
5	/ ()	循環のしくみとその病態生理①	①心臓のポンプ機能と病態生理 ②血圧調節と末梢循環のしくみと病態生理	
6	/ ()	循環のしくみとその病態生理②		
7	/ ()	呼吸のしくみと病態生理①	①呼吸器の構造と機能 ②呼吸困難と呼吸不全 ③呼吸器系の防御機構の障害 ④換気の障害 ⑤ガスの拡散障害 ⑥肺循環の障害 ⑦呼吸調節の障害	
8	/ ()	呼吸のしくみと病態生理②		
9	/ ()	消化・吸収のしくみと病態生理①	①消化管の構造と機能 ②咀嚼・嚥下の障害 ③胃・腸管の障害 ④消化・吸収の障害 ⑤肝臓・胆嚢の機能と障害 ⑥膵臓の機能とその障害 ⑦腹腔腔・腹膜・腸間膜の機能とその障害	
10	/ ()	消化・吸収のしくみと病態生理②		
11	/ ()	腎・泌尿器のしくみと病態生理	①腎臓の構造と機能 ②腎機能の障害 ③泌尿器のしくみと病態生理	
12	/ ()	内分泌・代謝のしくみと病態生理	①内分泌のしくみとその異常 ②糖代謝とその異常 ③脂質代謝とその異常 ④尿酸代謝とその異常 ⑤カルシウム・リンの代謝とその異常	
13	/ ()	脳・神経、筋肉のはたらきと病態生理	①脳・神経・筋肉の機能 ②脳循環のしくみとその障害 ③髄膜・髄液のはたらきとその障害 ④脳腫瘍 ⑤頭痛 ⑥睡眠障害 ⑦意識と認知の障害 ⑧運動制御のしくみとその障害 ⑨筋収縮のしくみとその障害	
14	/ ()	生殖のしくみと病態生理	①女性生殖器の機能とその異常 ②男性生殖器の機能とその異常	
		感覚器のはたらきと病態生理	①視覚器の機能とその異常 ②聴覚器の機能とその異常 ③味覚・嗅覚とその異常 ④皮膚感覚とその異常	
15	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 系統看護学講座 専門基礎分野 病態生理学 疾病のなりたちと回復の促進② (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
疾病治療Ⅱ	講義	1年次後期	1単位／30時間	外部講師
<p>目的:1年次に学習した、「解剖生理学」「疾病学総論」の講義内容をもとに、循環器、血液・造血器系のそれぞれの臓器に生じる疾患の種類、発生の原因や進行の過程、疾病に応じた治療について学ぶ</p> <p>目標:①循環器系に疾患を持つ人のアセスメントができる基礎的能力を習得するために、必要な疾患の病態、診断、治療の基礎的知識を理解する。 ②血液・造血器系に疾患を持つ人へのアセスメントができる基礎的能力を習得するために、必要な疾患の病態、診断、治療の基礎的知識を理解する。</p>				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	／ ()	循環器系の疾患 (病理学より) 症状とその病態生理 (成人看護学③より)	1)循環器系の疾患 ・血管の疾患 ・心臓の疾患 1)胸痛 2)動悸	
2	／ ()	症状とその病態生理	3)呼吸困難 4)浮腫 5)チアノーゼ 6)めまい・失神 7)四肢の疼痛 8)ショック	
3	／ ()	検査と治療	1)診察と診断の流れ 2)検査 ・心電図 ・胸部X線検査 ・心エコー法 ・脈波検査 ・心臓カテーテル法 ・その他	
4	／ ()	検査と治療	3)治療 ・内科的治療 ・外科的治療 ・補助循環装置	
5	／ ()	循環器系の疾患の理解	1)虚血性心疾患 2)心不全 3)血圧異常 4)不整脈	
6	／ ()	循環器系の疾患の理解	5)弁膜症 6)心膜炎 7)心筋疾患 8)肺性心	
7	／ ()	循環器系の疾患の理解	9)先天性心疾患 10)動脈系疾患 11)静脈系疾患 12)リンパ系疾患	
8	／ ()	血液・造血器系の疾患 (病理学より) 血液の生理と造血のしくみ (成人看護学④より)	1)腎臓および血液の疾患 2)リンパ系および脾臓の疾患 1)血液の成分と機能 2)造血のしくみ	

9	/ ()	検査・診断と症状・病態生理	1) 病歴聴取と身体所見 ・貧血 ・発熱 ・リンパ節腫脹・脾腫 ・出血傾向 2) 検査 ・末梢血検査 ・骨髄穿刺・骨髄生検 ・出血傾向の検査 ・リンパ節生検 ・その他	
10	/ ()	検査・診断と症状・病態生理	3) 症候とその病態生理 ・貧血 ・白血球増加症 ・白血球減少症 ・脾腫 ・リンパ節腫脹 ・出血性素因	
11	/ ()	疾患と治療の理解	1) 赤血球系の異常 2) 白血球系の異常	
12	/ ()	疾患と治療の理解	3) 造血器腫瘍 ・造血器腫瘍とは ・造血器腫瘍の分類 ・治療計画とインフォームドコンセント	
13	/ ()	疾患と治療の理解	・造血器腫瘍治療の基本理念 ・造血器腫瘍治療における支持療法 ・急性白血病 ・骨髄異形成症候群(MDS) ・慢性骨髄白血病(CML) ・骨髄増殖性腫瘍(MPN) ・慢性リンパ性白血病(CLL) ・成人T細胞白血病リンパ腫(ATLL) ・悪性リンパ腫 ・その他	
14	/ ()	疾患と治療の理解	4) 出血性疾患 ・血管異常による出血性疾患 ・血小板異常による出血性疾患 ・凝固異常による出血性疾患 ・播種性血管内凝固症候群(DIC)	
15	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 疾病の成り立ちと回復の促進① (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③ (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 血液・造血器 成人看護学④ (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
疾病治療Ⅲ	講義	2年次前期	1単位／30時間	外部講師
<p>目的:1年次に学習した、「解剖生理学」「疾病学総論」の講義内容をもとに呼吸器系、消化器系及び歯・口腔のそれぞれの臓器に生じる疾患の種類、発生の原因や進行の過程、疾病に応じた治療について学ぶ</p> <p>目標:①呼吸器系、消化器系に疾患を持つ人のアセスメントができる基礎的能力を習得するために、必要な疾患の病態、診断、治療の基礎的知識を理解する ②歯・口腔の疾患を持つ人へのアセスメントができる基礎的能力を習得するために、必要な疾患の病態、診断、治療の基礎的知識を理解する</p> <p>評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する</p>				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	／ ()	呼吸器系の疾患 (病理学より) 症状とその病態生理 (成人看護学②より)	1)呼吸器系の疾患 ・鼻腔・咽頭・喉頭の疾患 ・気管・気管支・肺の疾患 ・胸膜と縦隔の疾患 1) 自覚症状 2) 他覚症状	
2	／ ()	検査と治療・処置	1) 診察と診断の流れ ・問診 ・身体所見 ・その他 2) 検査 ・血液検査 ・喀痰検査 ・その他	
3	／ ()	検査と治療・処置	3) 治療・処置 ・吸入療法 ・酸素療法 ・人工呼吸療法 ・その他	
4	／ ()	呼吸器系の疾患	1) 感染症 ・かぜと急性気管支炎 ・インフルエンザ ・肺炎 ・その他 2) 間質性肺疾患 3) 気道疾患 ・気管支喘息 ・気管支拡張症 ・その他 4) 肺血栓塞栓症	
5	／ ()	呼吸器系の疾患	5) 呼吸不全 6) 呼吸調節に関する疾患 ・過換気症候群 ・睡眠時無呼吸症候群 ・その他 7) 肺腫瘍 ・良性腫瘍 ・悪性腫瘍	
6	／ ()	呼吸器系の疾患	8) 肺・肺血管の形成異常 9) 胸膜・縦隔・横隔膜の疾患 10) 肺移植 11) 胸部外傷 ・肋骨骨折 ・横隔膜破裂 ・その他	
7	／ ()	消化器系の疾患 (病理学より) 症状とその病態生理 (成人看護学⑤より)	1) 口腔・食道の疾患 2) 胃の疾患 3) 腸・腹膜の疾患 4) 肝臓・胆管・胆嚢の疾患 5) 膵臓の疾患 1) 嚥下困難 2) おくび・胸やけ 3) 吐きけ・嘔吐 4) 腹痛 5) 吐血・下血 6) 下痢・便秘 7) 腹部膨満 8) 食欲不振と体重減少 9) 腹水 10) 黄疸 11) 意識障害(肝性脳症)	
8	／ ()	検査と治療	1) 診察と診断の流れ ・打診 ・触診 ・直腸指診 ・その他 2) 検査 ・糞便検査 ・肝機能検査 ・その他 3) 治療 ・薬物療法 ・栄養療法 ・食事療法 ・手術療法 ・放射線療法	

9	/ ()	疾患の理解	1) 食道の疾患 ・食道がん ・食道アカシア ・その他 2) 胃・十二指腸疾患 ・胃炎 ・胃・十二指腸潰瘍 ・胃がん ・その他	
10	/ ()	疾患の理解	3) 腸および腹膜疾患 ・腸炎 ・腹膜炎 ・ヘルニア ・イレウス(腸閉塞症) ・結腸がん、直腸がん ・肛門疾患 ・その他	
11	/ ()	疾患の理解	4) 肝臓・胆嚢の疾患 ・肝炎 ・肝硬変症 ・肝(臓)がん・胆石症 ・胆管がん・胆嚢がん ・その他 5) 膵臓の疾患 ・膵(臓)炎 ・膵(臓)がん 6) 急性腹症 7) 腹部外傷	
12	/ ()	歯・口腔の構造と機能 (成人看護学⑮より) 症状とその病態生理	1) 歯および歯周組織 2) 口唇および頬部 3) 口蓋 4) 舌 5) 口底・顎下部 6) 顎および顎関節 7) 口腔顎顔面の筋 8) 唾液腺 1) 口腔症状 ・疼痛 ・腫脹 ・口腔出血 ・その他 2) 顎口腔機能障害 ・呼吸障害 ・開口障害 ・咀嚼障害・嚥下障害 ・その他	
13	/ ()	検査と治療・処置	1) 検査 ・口腔内検査 ・口腔外検査 ・画像検査 ・その他 2) 治療・処置 ・齶蝕の治療 ・歯周疾患の治療 ・口腔外科外来治療 ・口腔外科入院治療 ・補綴治療 ・歯科矯正治療 ・その他	
14	/ ()	疾患の理解	1) 歯の異常と疾患 2) 歯周組織の疾患 3) 齶蝕に続発する疾患(顎骨の炎症) 4) 口腔粘膜の疾患 5) 口腔領域の嚢胞 6) 口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患 7) 口腔領域の悪性腫瘍 8) 歯と顎骨の外傷 9) 口腔領域の先天異常および発育異常 10) 顎関節の疾患 11) 唾液腺の疾患 12) 神経の疾患	
15	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 疾病の成り立ちと回復の促進① (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学② (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 成人看護学⑤ (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 歯・口腔 成人看護学⑮ (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
疾病治療IV	講義	2年次前期	1単位／30時間	外部講師
<p>目的:1年次に学習した、「解剖生理学」「疾病学総論」の講義内容をもとに腎・泌尿器、生殖器系および乳腺、内分泌・代謝系のそれぞれの臓器に生じる疾患の種類、発生の原因や進行の過程、疾病に応じた治療について学ぶ</p> <p>目標:①腎・泌尿器、生殖器系に疾患を持つ人のアセスメントができる基礎的能力を習得するために、必要な疾患の病態、診断、治療の基礎的知識を理解する ②乳腺、内分泌・代謝系の疾患を持つ人へのアセスメントができる基礎的能力を習得するために、必要な疾患の病態、診断、治療の基礎的知識を理解する</p>				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	／ ()	腎・泌尿器系の疾患 症状とその病態生理 (成人看護学⑧より)	腎・泌尿器の疾患 1)尿の異常 2)排尿に関連した症状 3)浮腫	
2	／ ()	症状とその病態生理	4)脱水 5)循環器系の異常 6)血液の異常 7)尿毒症 8)その他の症状	
3	／ ()	検査と治療・処置	1)診察 2)検査 3)治療と処置 4)排尿管理 5)透析療法 6)腎移植	
4	／ ()	疾患の理解	1)腎不全と慢性腎臓病 2)ネフローゼ症候群 3)糸球体腎炎 4)全身性疾患による腎障害 5)妊娠高血圧症候群 6)尿路・性器の感染症	
5	／ ()	疾患の理解	7)尿路の通過障害と機能障害 8)尿路損傷および異物 9)尿路結石症 10)尿路・性器の腫瘍 11)発生・発育の異常 12)男性不妊症、男性性機能障害、男性生殖器疾患 13)その他	
6	／ ()	女性生殖器および乳腺の疾患 症状とその病態生理 (成人看護学⑨より)	1)生殖器系の疾患 2)乳腺の疾患 1)ショック 2)出血 3)帯下	
7	／ ()	症状とその病態生理	4)疼痛 5)発熱 6)下腹部膨満・腫瘤感 7)外陰部搔痒感 8)排尿障害 9)自律神経症状、不定愁訴 10)リンパ浮腫	

8	/ ()	診察・検査と治療・処置	1)診察・検査 ・理学検査 ・病理検査 ・その他 2)治療・処置 ・膣洗浄 ・穿刺 ・その他	
9	/ ()	疾患の理解	1)性分化疾患 2)臓器別疾患 ・外陰、膣、子宮の疾患 ・卵管、卵巣の疾患 ・乳房の疾患 ・その他	
10	/ ()	疾患の理解	3)機能的疾患 ・月経異常 ・月経随伴症状 ・更年期障害 ・その他 4)感染症	
11	/ ()	内分泌・代謝 症状とその病態生理 (成人看護学⑧より)	内分泌系の疾患 ・ホルモンとホメオスタシス ・内分泌器官の疾患 1)体重変化・身長 of 異常 2)容貌の変化	
12	/ ()	症状とその病態生理	3)神経・筋症状 4)循環器症状 5)その他	
13	/ ()	検査 疾患の理解	1)内分泌疾患の検査 2)代謝疾患の検査 1)内分泌疾患 ・視床下部-下垂体前葉系疾患 ・視床下部-下垂体後葉系疾患 ・甲状腺疾患 ・その他	
14	/ ()	疾患の理解	2)代謝疾患 ・糖尿病 ・脂質異常症 ・肥満症とメタボリックシンドローム ・その他	
15	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 疾病の成り立ちと回復の促進① (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学⑥ (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧ (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨ (医学書院)				
備考:				

学科	第一学科			
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
疾病治療Ⅴ	講義	2年次後期	1単位／30時間	外部講師
<p>目的:1年次に学習した、「解剖生理学」「疾病学総論」の講義内容をもとに脳・神経・筋系、骨・関節系、眼・耳・鼻・皮膚系のそれぞれの臓器に生じる疾患の種類、発生の原因や進行の過程、疾病に応じた治療について学ぶ</p> <p>目標:①脳・神経系に疾患を持つ人へのアセスメントができる基礎的能力を習得するために、必要な疾患の病態、診断、治療の基礎的知識を理解する ②骨・関節系の疾患を持つ人へのアセスメントができる基礎的能力を習得するために、必要な疾患の病態、診断、治療の基礎的知識を理解する ③眼・耳・鼻・皮膚系の疾患を持つ人へのアセスメントができる基礎的能力を習得するために、必要な疾患の病態、診断、治療の基礎的知識を理解する</p>				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	脳・神経の疾患 症状とその病態生理 (成人看護学⑦)	1)脳・神経の疾患 ・脳・神経系の循環障害と外傷 ・脳・神経系の感染症 ・その他 2)筋肉系の疾患 ・進行性筋ジストロフィー ・その他	
2	/ ()	症状とその病態生理 検査・診断と治療・処置	2)おもな症状とその病態生理 ・意識障害 ・高次機能障害 ・運動機能障害 ・その他 1)診断と診療の流れ 2)検査 ・神経学的検査 ・補助的検査法 ・その他 3)治療・処置 ・外科的治療法 ・内科的治療法	
3	/ ()	疾患の理解	1)脳疾患 2)脊髄疾患 3)末梢神経障害 4)筋疾患・神経筋接合部疾患	
4	/ ()	疾患の理解	5)脱髄・変性疾患 6)脳・神経系の感染症 7)その他	
5	/ ()	骨・関節系の疾患 (病理学より) 症状とその病態生理 (成人看護学⑩)	1)骨折 2)骨髄炎 3)骨粗鬆症 4)関節炎 5)椎間板ヘルニア 6)骨肉腫 7)転移性骨腫瘍 1)疼痛 2)形態の異常 3)関節運動の異常 4)神経の障害 5)その他	
6	/ ()	診断・検査と治療・処置	1)診察・診断の流れ 2)検査 3)治療・処置 ・保存療法 ・理学療法と作業療法 ・手術療法 ・義肢と装具	
7	/ ()	疾患の理解	1)骨折 2)脱臼 3)その他	
8	/ ()	疾患の理解	内因性(非外傷性)の運動器疾患 1)先天性疾患 2)骨・関節の炎症性疾患 3)骨腫瘍および軟部腫瘍 4)代謝性骨疾患 5)その他	
9	/ ()	眼科の疾患 眼・症状とその病態生理	1)視機能に関連した症状 2)視機能に関連しない症状	

10	/ ()	検査と治療 疾患の理解	【検査と治療】 1) 診察と診断の流れ 2) 検査 3) 治療 1) 機能の障害 2) 部位別の疾患 3) 外傷 4) 全身疾患との関連	
11	/ ()	耳鼻咽喉の疾患 症状とその病態生理 (成人看護学⑭より) 検査と治療	1) 耳の疾患 2) 鼻の疾患 3) 咽喉の疾患 1) 耳に現れる症状と病態生理 2) 鼻にあらわれる症状と病態生理 3) 口腔、唾液腺、咽頭に現れる症状と病態 4) 喉頭に現れる症状と病態整理 1) 診察と診断のながれ 2) おもな検査 3) おもな治療	
12	/ ()	疾患の理解	1) 耳疾患 ・外耳疾患 ・内耳疾患 ・内耳・後迷路性疾患 2) 鼻の疾患 3) 口腔・咽頭の疾患 4) 気道・食道・頸部疾患と音声・言語障害	
13		皮膚の疾患 症状とその病態生理 (成人看護学⑫) 検査と治療 疾患の理解	皮膚の疾患 1) 発疹 2) 掻痒(かゆみ) 3) 皮膚の老化 1) 診察と診断の流れ 2) 検査 ・皮膚的検査法 ・その他 3) 治療・処置 ・全身療法 ・外用療法 ・手術療法 ・その他 1) 表在性皮膚疾患 2) 真皮・皮下脂肪織および皮膚付属器の疾患	
14	/ ()	疾患の理解	3) 脈管系の異常による皮膚疾患 4) 物理・化学的皮膚傷害 5) 腫瘍および色素異常症 6) 感染症 7) 全身性疾患に伴う皮膚病変	
15	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:: 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 疾病の成り立ちと回復の促進① (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳・神経 成人看護学⑦ (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器 成人看護学⑩ (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 皮膚 成人看護学⑫ (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 眼 成人看護学⑬ (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 耳鼻咽喉 成人看護学⑭ (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
臨床薬理 I	講義	1年次後期	1単位／15時間	外部講師
目的:薬剤が生体に対してどのように作用し、生体は薬剤を体内でどのように処理しているかを学ぶ 目標:①薬理学とはどのような学問かを理解する ②薬理学の基本的知識を理解し、発達段階・性差による人体への影響を理解する ③薬と法律の関係について理解する				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	薬理学を学ぶにあたって	【薬理学とはなにか】 【薬による病気の治療】	
2	/ ()	薬理学の基礎知識	【薬が作用するしくみ】 ①薬物受容体 ②イオンチャンネル ③酵素 ④トランスポーター	
3	/ ()	薬理学の基礎知識	【薬の体内の挙動(薬物動態学)】 ①薬物の投与経路 ②薬物の吸収 ③薬物の分布 ④薬物の代謝と排泄 ⑤治療において重要となる薬物動態の指標	
4	/ ()	薬理学の基礎知識	【薬剤相互作用】 ①薬物動態的相互作用 ②薬力学的相互作用 【薬効の個人差に影響する因子】 ①年齢 ②性 ③妊娠 ④遺伝子	
5	/ ()	薬理学の基礎知識	【薬物使用の有益性と危険性】 ①薬物の用量による影響 ②薬物の副作用 ③薬物の反復投与による影響 【薬と法】 ①医薬品に関する法律 ②新薬の開発	
6	/ ()	漢方薬	①漢方薬の基礎知識 ②漢方薬各論	
7	/ ()	消毒薬	①消毒薬とは ②消毒薬の種類と応用 ③消毒薬の適用	
8	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③ (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
臨床薬理Ⅱ	講義	2年次前期	1単位／15時間	外部講師
目的:薬物療法を受けている患者に対して適切な看護を行うために薬剤の作用機序を理解し、さらに各臓器に作用する薬物の作用・副作用について学ぶ 目標:①疾患ごとの治療薬の種類・作用・副作用を理解する ②治療薬による生体反応を理解する ③理解された薬理学をどのように看護に活かす方法を考える				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	抗感染症薬	①感染症薬に関する基礎事項 ②抗感染症薬各論 ③特殊な感染症の治療薬 ④感染症の治療における問題点	
2	/ ()	抗がん薬 免疫治療薬	【抗がん薬】 ①がん治療に関する基礎事項 ②抗がん薬各論 【免疫治療薬】 ①免疫系の基礎知識 ②免疫抑制薬 ③免疫増強薬・予防接種薬	
3	/ ()	抗アレルギー薬・抗炎症薬 末梢での神経活動に作用する薬物	【抗アレルギー薬・抗炎症薬】 ①抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬 ②炎症と抗炎症薬 ③関節リウマチ治療薬 ④痛風・高尿酸血症治療薬 ⑤片頭痛治療薬 【末梢での神経活動に作用する薬物】 ①神経系による情報伝達 ②自律神経系作用薬 ③交感神経作用薬 ④副交感神経作用薬 ⑤筋弛緩薬・局所麻酔薬	
4	/ ()	中枢神経系に作用する薬物	①中枢神経系のはたらきと薬物 ②全身麻酔薬 ③催眠薬・抗不安薬 ④抗精神病薬 ⑤気分障害治療薬 ⑥パーキンソン症候群治療薬 ⑦抗てんかん薬 ⑧麻薬性鎮痛薬	
5	/ ()	心臓・血管系に作用する薬物	①抗高血圧薬 ②狭心症治療薬 ③心不全治療薬 ④抗不整脈薬 ⑤利尿薬 ⑥脂質異常症治療薬 ⑦血液に作用する薬剤	
6	/ ()	呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬物 物質代謝に作用する薬物	【呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬物】 ①呼吸器系に作用する薬物 ②消化器系に作用する薬物 ③生殖器・泌尿器系に作用する薬物 【物質代謝に作用する薬物】 ①ホルモンとホルモン拮抗薬 ②治療薬としてのビタミン	

7	/ ()	皮膚科用薬・眼科用薬 救急の際に使用される薬物	【皮膚科用薬・眼科用薬】 ①皮膚に使用する薬物 ②眼科用薬 【救急の際に使用される薬物】 ①救急に用いられる薬物 ②急性中毒に対する薬物	
8	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト::系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③ (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
リハビリテーション	講義	2年次前期	1単位/15時間	外部講師
目的:リハビリテーションの概念と実際について学ぶ 目標:①リハビリテーションの概念と実際について学ぶ ②リハビリテーションの実際について理解できる ③リハビリテーションを受ける対象に必要な看護が考えられる				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	リハビリテーションの概念	リハビリテーションの定義・理念、リハビリテーションの対象と制度、疾病・障害・生活の分類(ICD)(ICIDH)	
2	/ ()	リハビリテーションを受ける人の対象の理解	リハビリテーション看護の対象、リハビリテーション看護の方法	
3	/ ()	運動器系の生涯とリハビリテーション看護	生活機能障害のアセスメント	
4	/ ()	中枢神経系の生涯とリハビリテーションの看護	生涯に対するリハビリテーション	
5	/ ()	呼吸器系・循環器系の生涯とリハビリテーション看護 感覚器系のリハビリテーションの看護	社会的リハビリテーション、社会資源の活用、コミュニケーションの援助	
6	/ ()	演習	リハビリテーションを受けている人の看護	
7	/ ()	演習	リハビリテーションを受けている人の看護	
8	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:(医学書院) 系統別看護講座一別巻 リハビリテーション看護				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
公衆衛生	講義	2年次前期	1単位／30時間	外部講師
目的:①健康と環境の関わりを理解し、人間の健康を保持増進する方法を学ぶ ②人間の保健・医療・福祉の増進のために医療チームの一員としての保健活動について学ぶ 目標:①人の健康を保持・増進する方法を学び、理解し、実生活で活用できる ②医療チームの一員として働ける能力を身につける				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	序章 公衆衛生のエッセンス	【序章】 ①みんなの健康 ②「ひとり」から「みんな」の看護へ ③「みんなの健康」はみんなの力で 【公衆衛生のエッセンス】 ①公衆衛生とはなにか ②世界の公衆衛生の歴史-はじまりの物語 ③日本における公衆衛生-はじまりと発展 ④戦後の展開-新たな公衆衛生の理念 ⑤公衆衛生を看護に取り込むカーサイエンスとアートの活用	
2	/ ()	公衆衛生の活動対象	①自分の生活と健康に関する社会集団 ②看護職の公的責任と活動対象 ③社会集団をとらえる視座 ④社会集団の中にある特定集団	
3	/ ()	公衆衛生のしくみ	①政策展開 ②国と地方自治体の役割 ③専門職のはたらき ④住民との協働	
4	/ ()	環境と健康	①地球規模の環境と健康 ②身のまわりの環境と健康	
5	/ ()	国際保健	①世界との出会い ②経済格差と健康格差 ③健康格差の解消のために ④国際保健の担い手 ⑤国際保健の共通目標-ミレニアム開発目標(MDGs) ⑥国際保健と日本 ⑦正解のない課題を前にして	
6	/ ()	集団の健康をとらえるための手法-疫学	①集団としての人々の健康をまもる ②公衆衛生の場での疫学-集団をとらえる ③公衆衛生の場での疫学-原因を分析する	
7	/ ()	集団の健康をとらえるための手法-疫学	④公衆衛生の場での疫学-対策を計画・実施する ⑤エビデンスを使う、つくる	
8	/ ()	地域保健	①母子保健 ②成人保健	
9	/ ()	地域保健	③高齢者保健 ④精神保健	
10	/ ()	地域保健	⑤歯科保健 ⑥難病支援・障害支援 ⑦感染症対策	
11	/ ()	学校と健康	①学校における健康とは ②学校保健の展開 ③特別な支援を必要とする子どもたち	
12	/ ()	職場と健康	①職場における健康とは	
13	/ ()	職場と健康	②産業保健・看護活動の展開 ③産業保健における今後の課題と新たな動き	
14	/ ()	健康危機管理・災害管理	①健康危機管理 ②災害保健	
15	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 健康支援と社会保障制度② (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
社会福祉 I	講義	2年次前期	1単位／15時間	外部講師
目的: 社会保障制度と社会保障の動向や内容を理解し、福祉・保健・医療の諸問題について学ぶ 目標: ①社会保障・社会福祉制度の概要を理解する ②医療保障・介護保障・所得保障・公的扶助について理解する				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	社会保障制度と社会福祉	①社会保障制度 ②社会福祉の法制度	
2	/ ()	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向	①現代社会の変化 ②社会保障・社会福祉の動向	
3	/ ()	医療保障	①医療保障制度の沿革 ②医療保障制度の構造と体系 ③健康保険と国民健康保険	
4	/ ()	医療保障	④高齢者医療制度 ⑤保険診療のしくみ ⑥公費負担医療 ⑦国民医療費	
5	/ ()	介護保障	①介護保険制度創設の背景と介護保障の歴史 ②介護保険制度の概要 ③介護保険制度の課題と展望	
6	/ ()	所得保障	①所得保障制度のしくみ ②年金保険制度 ③社会手当 ④労働保険制度	
7	/ ()	公的扶助	①貧困・低所得問題と公的扶助制度 ②生活保護制度のしくみ ③低所得者対策 ④近年の動向	
8	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③ (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
社会福祉 II	講義	3年次前期	1単位／15時間	外部講師
目的:医療チームの一員として他職種との連携に役立てるために、社会福祉について理解する。高齢者福祉、障害者福祉、児童・家庭福祉について理解し、支援方法について学ぶ 目標:①社会福祉の歴史と制度について理解する ②社会福祉について医療・看護の視点で理解する ③社会福祉の各分野・サービスについて理解する				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	社会福祉の分野とサービス	①高齢者福祉 ②障害者福祉	
2	/ ()	社会福祉の分野とサービス	③児童家庭福祉	
3	/ ()	社会福祉実践と医療・看護	①社会福祉援助とは ②個別援助技術(ケースワーク) ③集団援助技術(グループワーク)	
4	/ ()	社会福祉実践と医療・看護	④間接援助技術と関連援助技術 ⑤社会福祉援助の検討課題 ⑥連携の重要性	
5	/ ()	社会福祉実践と医療・看護	⑦社会福祉実践と医療・看護の連携 ⑧連携の場面とその方法	
6	/ ()	社会福祉の歴史	①福祉史の枠組み ②福祉史の3段階 ③前近代の救済の諸相	
7	/ ()	社会福祉の歴史	④近代の救済の諸相 ⑤現代社会の構造変化と生活支援 ⑥戦後の社会福祉の再生	
8	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③ (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
関係法規Ⅰ	講義	2年次後期	1単位／15時間	講師
目的:医療に関わる法律を理解し、看護職に関係の深い法令について学ぶ 目標:看護法・医事法・保健衛生法・薬務法など関連の深い法律・法令を理解する				
評価方法:1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1とを総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	法の概念	①法の概念 ②法の分類 ③衛生法 ④厚生行政のしくみ	
2	/ ()	看護法	①保健師助産師看護師法 ②看護師等の人材確保に関する法律	
3	/ ()	医事法	①医師法・医療法 ②医療関係資格法 ③保健医療福祉資格法	
4	/ ()	医事法	④医療を支える法 ⑤人の死に関する法 ⑥緊急時の看護・医療に関する法	
5	/ ()	保健衛生法	①共通保健法 ②分野別保健法	
6	/ ()	保健衛生法	③感染症に関する法 ④食品に関する法	
7	/ ()	薬務法	①薬事一般に関する法律 ②人等の組織を用いた医療関連法 ③薬害被害者の救済等 ④麻薬・毒物等	
8	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト:系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④ (医学書院)				
備考:				

学科		第一学科		
授業科目名	内訳	開講時期	単位/時間	担当教員
関係法規Ⅱ	講義	3年次前期	1単位/15時間	講師
目的: 人間が生活している環境・社会についての法律を理解する 労働法や社会保障制度など、看護師としての実務に必要な法律について学ぶ 目標: ①それぞれの制度の内容と関連について理解する ②法令の改訂にも目を向け、刻々と変化する内容等にも理解を深める				
評価方法: 1.筆記試験(90%) 2.授業への参加態度・状況(10%) 1と2を総合的に判断する				
回	月/日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	環境衛生法	①営業 ②環境整備	
2	/ ()	社会保険法	①費用保障 ②年金 ③手当	
3	/ ()	福祉法	①福祉の基盤 ②児童分野	
4	/ ()	福祉法	③高齢分野 ④障害分野	
5	/ ()	労働法と社会基盤整備	①労働法	
6	/ ()	労働法と社会基盤整備	②社会基盤整備等	
7	/ ()	環境法	①環境保全の基本法 ②公害の防止法 ③自然保護法	
8	/ ()	テスト		
履修者へのコメント:				
使用テキスト: 系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④ (医学書院)				
備考:				

学科	第一学科			
授業科目名	内訳	開講時期	単位／時間	担当教員
医療と経済	講義	3年次前期	1単位／15時間	外部講師
<p>目的 超高齢社会における疾病構造の変化、療養の場の多様化、地域包括ケアシステムの推進という背景のなか、多様化・複雑化するケアニーズに対応できる看護職者を育成することが目的とされている。医療人は人々の健康や福祉を維持・向上するという社会的役割を担っている社会保障制度としての医療の仕組み、ならびにその経済基盤について学ぶ</p> <p>目標： ①健康・医療教育、健康教育、健康・医療の実態、医療制度、病院、医療施設の実態を理解する ②諸外国と日本の医療制度の違いを理解する</p>				
評価方法：1. 筆記試験（90%） 2. 授業への参加態度・状況（10%） 1と2を総合的に判断する				
回	月／日(曜日)	授業内容	内容	担当者
1	/ ()	医療と経済	医療保険の制度の概要	
2	/ ()	日本の医療費	国民医療費の規模や構成を知る。	
3	/ ()	医療保険の考え方	医療制度・介護制度について経済学について	
4	/ ()	医療保険の運営と実際	少子高齢化、人口都市集中と超高齢化、これらの医療・介護への影響	
5	/ ()	保健医療の費用	グループワーク	
6	/ ()	医療経済評価	診療報酬制度の意義について、経済学的視点だけではなく、政治的な観点からも考える。	
7	/ ()	経済発展と国民の水準	医療・介護従事者(医師・看護師など)の労働市場の現状と将来について考える。	
8	/ ()	テスト		
履修者へのコメント：				
使用テキスト： 講師資料				
備考：				